

4 資料等の利用を図る学習活動

(1) 学習指導要領で求められている能力

中教審答申では、「実生活で生きてはたらし、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力を身に付けること」ことが求められている。その改善の具体的な内容として、小学校では「課題に応じて必要な文章や資料等を取り上げ、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、相互に思考を深めたりまとめたりしながら解決していく能力の育成を重視する」、中学校では「小学校で習得した能力の定着を図りながら、中学校段階にふさわしい文章や資料等を取り上げ、自ら課題を設定し、基礎的・基本的な知識・技能を活用し、他者と相互に思考を深めたりまとめたりしながら解決していく能力の育成を重視する」としている。

これを受け、学習指導要領国語科では、文章（連続型テキスト）に加え、図表やグラフ、写真などの資料（非連続型テキスト）を利用する能力の育成が示された。それらは、各領域の指導事項や言語活動例において、具体的に示されている。

ア「指導事項」に示されている言語能力

◇「話すこと・聞くこと」

- ・目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。（中学校第2学年ウ）
- ・社会生活の中から話題を決め、自分の経験や知識を整理して考えをまとめ、語句や文を効果的に使い、資料などを活用して説得力のある話をする事。（中学校第3学年ア）

◇「書くこと」

- ・引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書くこと。（小学校第5学年及び第6学年エ）
- ・論理の展開を工夫し、資料を適切に引用するなどして、説得力のある文章を書くこと。（中学校第3学年イ）

◇「読むこと」

- ・本や文章などから必要な情報を集めるための方法を身に付け、目的に応じて必要な情報を読み取ること。（中学校第1学年カ）
- ・多様な方法で選んだ本や文章などから適切な情報を得て、自分の考えをまとめること。（中学校第2学年オ）

イ「言語活動例」に示されている資料等を利用する学習

◇「話すこと・聞くこと」

- ・図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。（小学校第3学年及び第4学年ウ）
- ・資料を提示しながら説明や報告をしたり、それらを聞いて助言や提案をしたりすること。（小学校第5学年及び第6学年ア）

◇「書くこと」

- ・収集した資料を効果的に使い、説明する文章などを書くこと。（小学校第3学年及び第4学年ウ）
- ・図表などを用いた説明や記録の文章を書くこと。（中学校第1学年イ）

◇「読むこと」

- ・文章と図表などとの関連を考えながら、説明や記録の文章を読むこと。（中学校第1学年イ）
- ・新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。（中学2年ウ）
- ・論説や報道などに盛り込まれた情報を比較して読むこと。（中学3年イ）

(2) 全国学力・学習状況調査における資料等の利用を図る能力

ア 全国学力・学習状況調査で求められている能力

平成19年度から始まった全国学力・学習状況調査において、「資料等の利用を図る」設問が、毎年出題されている。例えば、目的や条件に合わせて図表・グラフ、写真などを文章と関連させながら読み取り、理解したことを文章に書き表したり、資料を使って説明したりするものである。

こうした設問が毎年出題されていることから、文章だけでなく、資料を読んで考えたことを条件に合わせて表現・表出したり、資料を使って自分の考えを話したり書いたりする能力が重視されていることが分かる。

また、調査結果から、「図表・グラフ等と関連させながら文章を読んだり書いたりする」、「示された条件に従って、自分の言葉に置き換えて文章を書く」ことに課題がある傾向が見られた。したがって、今後、各領域の学習において、意識的に指導を行っていくことが求められる。

イ 設問例

(7) 平成21年度小学校「活用に関する問題」図を使って説明する（話す・聞く）

設問の設定は、ボードを使いながら、バスケットボールの作戦について説明するというものである。解答するに当たっては、作戦図中の凡例（↓等の記号）に着目しながら、作戦図と文章とを関連させて読み、文脈に合わせて適切な文を書くことが求められている。

(イ) 平成22年度中学校「活用に関する問題」資料を作成して発表する（書く）

3 どうして消せるのか？

「字を書く」とは、紙の繊維の間に鉛筆の芯に含まれる黒鉛が紙の繊維から取り除くことで、黒鉛の粒が消しゴムでこすられる。これは、可塑剤と黒鉛とから成る消しカスと紙の表面に引き合い性質を利用している。引き合いの粒が丸め込まれ、消しカスとなる。

図にするとこんな感じ↓

紙の繊維 黒鉛の粒 消しカス

紙の表面

字が消える仕組み

紙の繊維に入り込んだ黒鉛

黒鉛

消しカスとなった黒鉛

4

【ノート】

【提示する資料】

設問の設定は、「提示する資料」を示しながら、調べたことをまとめ、発表するというものである。

解答するに当たっては、

①【資料】の構成や内容、表現の仕方の特徴、図と文との関係等を捉える。

②文章（【ノート】）から必要な情報、言葉を拾い出す。

□の中に、図に適した内容を、表現の仕方に注意しながら書き入れることが求められている。

【提示する資料】4の□には、どのような説明を書くのが適切ですか。次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。

条件1 【ノート】の中にある言葉を使って書くこと。

条件2 「黒鉛」という言葉に続くように、十五字以内で書くこと。

(ウ) 平成22年度小学校「活用に関する問題」情報を関係付けて読む（読む）

設問の設定は、「条件に合った時計を買う」という目的で、「決めたこと」と必要な情報を関係付けて読む、というものである。

解答するに当たっては、二つの条件に合った時計を選び、資料にある情報を、字数などの設問の条件に合わせて説明するというものである。

目的に応じて資料を読み、条件に応じた表現の仕方です。


4

中島さんは、目覚まし時計を買ったために、インターネットを使って情報を集めました。そして、どんな目覚まし時計を選ぶかということについて、家族に相談して決めました。「資料」と「決めたこと」を読んで、あとの問いに答えましょう。

【資料】


インターネットを使って集めた目覚まし時計の情報

A 価格：3150円




- 設定した時刻になると、「おはよう」という声を出す。
- 時刻を示す針が、暗いところで光る。

B 価格：5250円



- 5種類の音楽の中から目覚まし音を選ぶ。
- 時刻を示す数字の横に、「午前」、「午後」という表示がある。

C 価格：4200円



- 好きな音楽を目覚まし音にすることができる。
- ボタンをおすと、時刻の表示が日付の表示に切りかわる。

【決めたこと】

- ◇ 5000円より安いもの。
- ◇ 音楽で目覚めることができるもの。

(3) 資料等を利用する能力を高める言語活動の例

各領域の指導において、次のような言語活動が考えられる。

◇ 「話すこと・聞くこと」

- ・ 図表、写真等を使って、話の効果的な順序を考えながら説明する。
- ・ 話す目的に応じて収集した情報を話の中心や付加的な部分を整理しながらフリップにまとめ、プレゼンテーションをする。

◇ 「書くこと」

- ・ 図解や写真、グラフなどの資料を効果的に使った説明文や新聞記事を書く。
- ・ 必要な事柄を収集し、キャッチコピーなどを入れた宣伝ポスターを書く。

◇ 「読むこと」

- ・ 新聞記事を読み、ニュース原稿にして音読する。
- ・ 挿絵、感想、印象的な言葉などを入れて、ポップで本の紹介文や推薦文を書く。

(4) 資料等を利用した指導計画例

A 話すこと・聞くこと の領域に関連させた指導〔小学校第6学年〕

【「話すこと・聞くこと」における児童の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

○伝えたいことの中心を意識し、理由や事例などの段落を構成しながら話す。

◆目的や意図に応じて、話の内容や構成を工夫する。

【身に付けさせたい力】

①目的や意図に応じ、伝えたいことについて、的確に話す能力を身に付けさせるとともに、適切に話す態度を育てる。 〈国語への関心・意欲・態度〉

②目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫しながら話すこと。 〈「話すこと・聞くこと」イ〉

③言葉の使い方に対する感覚について関心をもつこと。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)〉

【言語活動例】資料を提示しながら説明や報告をすること。 〈ア〉

【単元名】修学旅行の思い出を報告しよう～話の構成を工夫しながら話す～

【教材名】〈開発教材〉

【言語活動】資料を提示しながら報告すること。〈ア〉

【単元目標】

- ①相手や目的に応じた写真を提示したり言葉を使ったりしながら，修学旅行の思い出について，的確に話そうとする。 〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②相手や目的に応じて写真を選んだり並び替えたりするなど，写真を効果的に活用して話す。 〈「話すこと・聞くこと」イ〉
- ③言葉の使い方に対して関心を持つ。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(カ)〉

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
1			<p>修学旅行の思い出を報告することに見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行で撮った様々な場面の写真を15枚程度用意し，思い出について話し合う。 ・報告する相手と目的を，カードから選択する。 ・相手に応じて伝えたい内容に違いがあること，それにより構成や言葉の使い方にも違いが出ることを知る。 <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【相手カード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者 ・来年以降，修学旅行へ行く下級生 ・同学年の他グループの友達 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p>【目的カード】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見学先や見所を伝える ・旅行中のハプニングやエピソードを伝える ・修学旅行先で学んだことや発見したことを伝える </div> </div>
2 3 4	②相手や目的に応じて写真を選んだり並び替えたりするなど，写真を効果的に活用して話している。 〈「話す・聞く能力」イ〉	構成メモ	<p>相手と目的に応じた写真を基に，話を構成する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告したい内容を付箋に書き出し，「始め，中，終わり」の構成に即して，相手や目的に合わせて並べる。 ・選んだ内容に合わせて，効果的な写真を選ぶ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>1回目【保護者】 修学旅行先で学んだことや発見したことを伝える</p> <p>2回目【下級生】 見学先や見所を伝える</p> </div>
5 6 7 8 9 10	③言葉の使い方に対して関心を持っている。 〈言語についての知識・理解・技能イ(ハ)〉	原稿	<p>交流や練習を通して，原稿を吟味する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・写真の選び方や並べ方，報告の際の言葉の使い方など，2回の報告を比較し，違いとその意図を説明する。 ・相手に応じた言葉や使い方を選びながら，原稿を書く。 ・話す練習を行い，必要に応じて修正する。 <p>相手と目的を変えて，2回の報告を行う</p> <p>自らの報告を振り返り，効果的な報告の仕方をまとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に応じた話の内容や構成，言葉の使い方ができたか，評価し合う。
	①相手や目的に応じた写真を提示したり言葉を使ったりしながら，修学旅行の思い出について，的確に話そうとしている。 〈国語への関心・意欲・態度〉	発表 振り返りカード	

【Cと評価した児童への手立ての例（上記の評価規準の順）】

- ②相手や目的に応じて写真を選ばせ，順番を考えさせた上で，話を構成させる。〈イ〉
- ③「始め」と「終わり」の言葉の使い方リストを示し，話す相手に応じて選択させる。〈イ(カ)〉
- ①保護者や下級生に，聞きたいことをインタビューさせる。〈国語への関心・意欲・態度〉

B書くこと の領域に関連させた指導〔中学校第2学年〕

【「書くこと」における生徒の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 伝えたい事柄について、自分の考えを根拠を明確にして書く。
- ◆説明や具体例を加えるなど、分かりやすさを意識しながら効果的に書く。

【身に付けさせたい力】

- ①目的や意図に応じ、社会生活にかかわることなどについて、構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせるとともに、文章を書いて考えを広げようとする態度を育てる。〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめること。〈「書くこと」ア〉
- ③文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えること。〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ハ)〉

【言語活動例】多様な考えができる事柄について、立場を決めて意見を述べる文章を書くこと。〈イ〉

【単元名】意見文を書き投稿しよう～事実や意見が効果的に伝わるように書く～

【教材名・教材の特長】開発教材

- ・新聞には様々な社会生活に関する事柄が記載されているため、話題の設定において参考になる。
- ・意見文を新聞へ投稿することにより、読み手を意識しながら文章を書くことができる。

【言語活動】自分の立場を明確にして、意見を述べる文章を書く。〈イ〉

【単元目標】

- ①社会生活に関する意見文を、資料を基にしながらか効果的に書こうとする。〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめる。〈「書くこと」ア〉
- ③文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考える。〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ハ)〉

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
1			<p>意見文を書き、新聞へ投稿することの見通しを持つ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師から提示された社会生活に関わる中・高生の投書を読む。主語・述語の照応等の文の中の語句の構成や文の構成に着目しながら、意見文の特徴を理解する。 ・学習課題「興味を持った記事についての意見文（600字程度）を書き、新聞に投稿する」を理解する。 ・自分が集めてきた人間、社会、文化、自然などの社会生活に関する新聞記事から強く感じたことや気になったことについて紹介し合い、自分が論じたい事柄を決定する。
2	<p>②社会生活の中から課題を決め、多様な方法で材料を集めながら自分の考えをまとめている。</p> <p>〈「書く能力」ア〉</p> <p>③文の中の文の成分の順序や照応、文の構成などについて考えている。</p> <p>〈言語についての知識・理解・技能イ(ハ)〉</p>	構成メモ	<p>効果的な資料を探し、文章の構成を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・付箋（青）に、自分の意見と考えた理由を書く。 ・新聞記事から自分の意見の基になる事実を、付箋（赤）に抜き出す。情報が不足する場合は、関連記事や本、インターネット等から資料を探す。 ・付箋を整理して、自分の意見と事実をまとめる。
3			<p>交流する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見と事実の関係に着目しながら、選択した資料の適性について助言し合う。 ・友達からの助言を基に、必要に応じて資料を補足したり選択し直したりして、内容を修正する。
4			<p>600字程度の文章を書く</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主語・述語、修飾語と被修飾語等の照応に注意しながら、下書きを書き、推敲する。 ・下書きを読み合い、助言し合う。 ・文章を練り直し、清書したものを新聞に投稿する。
5	<p>①社会生活に関する意見文を、資料を基にしながらか効果的に書こうとしている。</p> <p>〈国語への関心・意欲・態度〉</p>	原稿	<p>意見と事実との関係、文の中の語句の順序や文の構成に視点置きながら、学習活動を振り返る</p>

(5) 学校図書館の利用

学習指導要領解説には「第4章 指導計画の作成と内容の取扱い」の中で、次のように記されている。

学校図書館については、「C読むこと」における読書指導だけの利用ではなく、「A話すこと・聞くこと」や「B書くこと」の指導の中でも、必要な図書館資料を得るために、意図的・計画的に利用する必要がある。また、国語科においてはもちろん、他の教科においても、児童一人一人が自分の疑問や課題を解決するために、学校図書館が学習・情報センターとして有効に機能することを求めている。このような観点から各領域等において、学校図書館の利用計画を立て、情報収集のための活用を意図的、計画的に行うことが大切である。また、国語科における読書の指導を、他の教科における読書の指導や学校図書館における読書の指導と緊密に関連付け、成果を上げていく工夫も大切である。

なお、情報収集や情報発信の手段としてコンピュータや情報通信ネットワークを活用する機会を設けること、インターネットや電子辞書等の活用、コンピュータによる発表資料の作成とプロジェクターによる提示等も考えられる。

「小学校学習指導要領解説国語編」p.102

国語科の学習指導においては、目標を実現するために学習に関係する資料を調べる際などに、学習・情報センター、読書センターとしての機能を備えた学校図書館などを計画的に利用し、その機能の活用を図るようにすることが大切である。

「A話すこと・聞くこと」においては、例えば、説明や発表などを行うためには、資料を準備することが欠かせないし、また、広く話題を求めるためには多くの資料に目を通す必要がある。「B書くこと」においては、例えば、報告をまとめる場合には、関係する資料などから必要な材料を求めることが必要となる。「C読むこと」においても、例えば、教科書に掲げる教材に関連して学習を深化し拡充する場合には、自発的、自主的に資料を探すことも必要となる。したがって、様々な資料を有する学校図書館などの施設を計画的に利用するよう指導することが大切である。

生徒は、学校図書館などを活用して学習することを通して、資料の集め方、調べ方、まとめ方、報告や発表の仕方などの学び方や考え方を身に付けるとともに、自らの力で論理的に考え判断する力、自分の思いや考えを的確に表現する力、今まで気付かなかったことや分からなかったことについて新たに関係があることなどを発見し解決する力などを身に付けることができる。

また、情報収集や情報発信の手段としてコンピュータや情報通信ネットワークを活用する機会を設けること、インターネットや電子辞書等の活用、コンピュータによる発表資料の作成とプロジェクターによる提示等も考えられる。今回の改訂では、次の指導事項や言語活動において、情報機器の活用を具体的に示している。

第2学年 「A話すこと・聞くこと」(1)

ウ 目的や状況に応じて、資料や機器などを効果的に活用して話すこと。

第2学年 「C読むこと」(2)

ウ 新聞やインターネット、学校図書館等の施設などを活用して得た情報を比較すること。

これら以外でも、「A話すこと・聞くこと」における話題設定や取材に関する指導、「B書くこと」における課題設定や取材に関する指導、「C読むこと」における読書と情報活用に関する指導などでは、情報機器の活用が考えられる。

「中学校学習指導要領解説国語編」p.81～82

小学校、中学校とも「A話すこと・聞くこと」、「B書くこと」、「C読むこと」及び〔伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項〕について、相互に密接に関連付けて指導することと、その際に学校図書館などを計画的に活用し、その機能の活用を図ることが説明されている。

(6) 学校図書館を利用した指導計画例

C読むことの領域に関連させた指導〔小学校第2学年〕

科学的な読み物に関心を持たせるために、司書教諭によるブックトークを単元の初めに行うことと、領域の指導をする際に必要な図書資料を図書館で収集し、活用していく例。

【「読むこと」における児童の実態】○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

- 説明文教材の内容の大体を事柄の順序に気を付けながら読む。
- 生き物について書いてある本に興味を持っている。
- ◆知識を得るために本を選んで読む。

【身に付けさせたい力】

- ①書かれている事柄の順序に気付いて読むとともに、楽しんで読書しようとする態度を育てる。
〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②楽しんだり知識を得たりするために、本や文章を選んで読むこと。
〈「読むこと」力〉
- ③言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付くこと。
〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)〉

【言語活動例】読んだ本について、好きなところを紹介すること。〈オ〉

【単元名】読んだ本を紹介しよう～本を選んで読む～

【教材名・教材の特長】「本をさがして読む 図書館へ行こう」（教育出版 2年上）

- ・初めて学校図書館に行く児童が図書館の使い方を知る様子について書かれている。
- ・本を分類に従って調べる方法が書かれている。

【言語活動】生き物について書いてある本を読んで、カードを作って紹介する。〈オ〉

【単元目標】

- ①伝えたいことを整理して、友達に本を紹介しようとする。 〈国語への関心・意欲・態度〉
- ②自分の調べたい生き物に関する知識を得るために、本を選んで読む。 〈「読むこと」力〉
- ③言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付く。 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ア)〉

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
朝 1 2			<p>前単元の学習を振り返り、生き物について更に知りたい気持ちを高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな生き物について知っていることを出し合う。 ・知らないことについてどのように調べるか話し合う。 ・教科書を読んで、学校図書館の利用の仕方についてイメージを持つ。 <p>学校図書館の見学をする 学習のめあて「生き物について書いてある本を紹介しよう」を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館で「生き物の知恵」をテーマにした司書教諭のブックトークを聞く。 ・読み物や図鑑など本の特徴を知る。 ・本の探し方について知る。
3 4	②自分の調べたい生き物に関する知識を得るために、本を選んで読んでいる。 〈「読む能力」力〉	付箋	<p>調べたい生き物を絞り、本を選ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選んだ本を読み、分かったことや面白かったことを付箋に書く。 ・選んだ本が学校図書館のどの棚にあったのか確認する。

時	評価規準	評価方法	学習活動
5 6	③言葉には、事物の内容を表す働きがあることに気付いている。 〈言語についての知識・理解・技能(7)〉	付箋	付箋に書き出したことを紹介し合う ・同じ生き物を選んだ者同士でグループを作り、読んだ本と付箋の内容について友達と紹介し合う。 ・グループで一つの生き物を決め、その生き物独特の知恵を感じる行動や習性を本から読み取る。
7 8	①伝えたいことを整理して、友達に本を紹介しようとしている。 〈国語への関心・意欲・態度〉	紹介カード	グループで一つの紹介カード「生き物のちえカード」を作り、グループ間で交流する ・付箋をどのように整理すると本の紹介にふさわしいのか考える。 ・交流の中で友達が興味を持つような紹介になっているか、評価し合う。 ・生き物の知恵について書いてある本を、「生き物のちえカード」と共に展示する。備え付けの「読んだよカード」で常時感想を伝え合う。

A 話すこと・聞くこと の領域に関連させた指導〔小学校第4学年〕

学校図書館を学習・情報センターとして活用し、児童が自分の疑問や課題を解決する方法を学ぶ授業例。図書の分類による検索方法などを他の教科の指導にも生かすことができる。学校図書館の利用計画を立て、情報収集のための活用を意図的、計画的に行うことが大切である。

【「話すこと・聞くこと」における児童の実態】 ○身に付けてきた力 ◆課題が見られる力

○身近なことから話題を決める。

○話し手の考えの筋道をたどって聞く。

◆相手に応じて適切な言葉遣いで話す。

※「読書『とんぼの楽園づくり』」を事前に読んで、生物と環境について興味を持っている。

【身に付けさせたい力】

①相手や目的に応じ、調べたことなどについて、筋道を立てて話す能力を身に付けさせるとともに、工夫しながら話そうとする態度を育てる。 〈国語への関心・意欲・態度〉

②関心のあることなどから話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモすること。

〈「話すこと・聞くこと」ア〉

③言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意して話すこと。

〈「話すこと・聞くこと」ウ〉

④表現したり理解したりするために必要な語句を増やすこと。

〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ウ)〉

【言語活動例】 図表や絵、写真などから読み取ったことを基に話したり、聞いたりすること。 〈ウ〉

【単元名】 図鑑を読んでクイズを作ろう～関心のあることから話題を決める～

【教材名・教材の特長】 〈開発教材〉

【言語活動】

図書館の本や図鑑などから読み取ったことを基にクイズを作り、話す。 〈ウ〉

【単元目標】

①図書館の本や図鑑などから読み取ったことを基にクイズを作り、話そうとする。

〈国語への関心・意欲・態度〉

②話題を決め、必要な事柄について調べ、要点をメモする。

〈「話すこと・聞くこと」ア〉

③言葉の抑揚や強弱、間の取り方に注意して話す。

〈「話すこと・聞くこと」ウ〉

④表現したり理解したりするために必要な語句を増やす 〈伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項イ(ウ)〉

【授業の具体例】

時	評価規準	評価方法	学習活動
1			<p>図書館で本を選ぶ方法を確認する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館に行き，テーマやジャンルからの検索，目次や索引を利用した検索方法を知る。（日本十進分類法など） <p>学習のめあて「生き物と自然環境をテーマにクイズを作り，1年生にクイズを出そう」を知る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教師が作ったクイズに答え，クイズについてイメージを持つ。 ・図書館の本から選んで，クイズの題材を決める。 ・調べた本から要点をメモする時は，大事なところを抜き出すことを知る。
2	②話題を決め，必要な事柄について調べ，要点をメモしている。	ワークシート	<p>クイズに出す生き物と自然環境の関わりがわかる題材を選び，要点をメモする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の決めた題材について本で調べ，要点をメモする。 <p>クイズの表現を考える</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メモを基にそれぞれクイズを作る。 ・調べたことが答えとなるように問いの表現を工夫する。 ・同じ生き物を選んだ児童でグループを作る。 <p>クイズ発表会のリハーサルをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループの中でリハーサルをし，言葉の抑揚や強弱，間の取り方を考え，評価シートを利用してアドバイスし合う。 ・1年生にとって難しい言葉や分かりにくい表現がないか，聞き手の立場で改善点を考え，繰り返し練習する。 <p>1年生に向けてクイズ発表会をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに発表会を行い，1年生もグループに分かれて参加する。 ・言葉の抑揚や強弱，間の取り方に注意して話す。 ・参考にした学校図書館の本を用意しておき，実物を見せて紹介する。 <p>クイズを作った時の図書館の本の使い方を振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クイズを作るのに適切な本を選択できていたか確認する。
3	④表現したり理解したりするために必要な語句を増やしている。		
4	〈「話す・聞く能力」ア〉 〈言語についての知識・理解・技能(カ)〉		
5	③言葉の抑揚や強弱，間の取り方に注意して話している。	クイズ用紙 発表	
6	〈「話す・聞く能力」ウ〉	評価シート	
7	①図書館の本や図鑑などから読み取ったことを基にクイズを作り，話そうとしている。		
8	〈国語への関心・意欲・態度〉	振り返りカード	

課題解決のために資料を収集する時や収集した資料を基に報告にまとめる時には，どのような資料が必要であるか，手にした本の中に必要な資料があるかどうか考え，判断する力が求められる。国語の授業において，このような学習の機会を増やし，司書教諭等と連携しながら学校図書館を積極的に活用していきたい。また，地域にある公共図書館の団体貸し出しの制度を利用して，児童に同じ本が行きわたるようにすることも考えられる。